

インドの利上げについて

<0.25%利上げ>

3月17日、インド準備銀行(中央銀行)は、政策金利であるレポ金利(市中への貸出金利)を0.25%引き上げ、6.75%としました。昨年12月に金利を据え置いた後、僅か1ヶ月で利上げを再開し、今年に入り2度目の利上げとなります。発表された声明でも指摘している通り、商品価格などの上昇によって、高水準のインフレに対する懸念が引き続き強い状況で、市場予想通りの対応となりました。

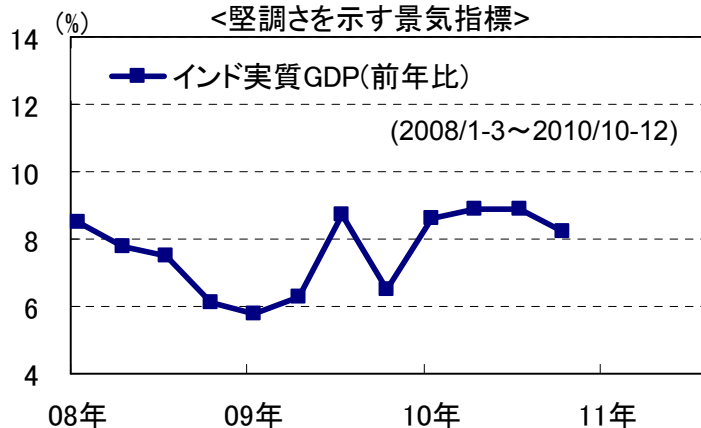
<為替市場>

予想通りの利上げだったため、インドルピー為替に大きな反応はありませんでした。東京時間16時現在で、1ドル=45.25ルピー、1ルピー=1円74銭、程度となっています。

<インド政策金利の推移>



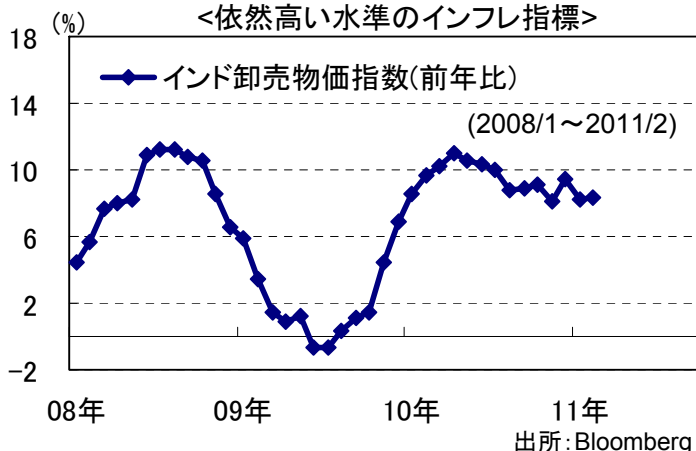
<堅調さを示す景気指標>



<インドルピー為替の推移>



<依然高い水準のインフレ指標>



<政策金利の見通し>

声明では、2011年3月までの1年間のGDP成長率が従来見通しの8.5%から8.6%に上方修正され、物価見通しも、2011年3月の卸売物価指数の上昇率を、前回上方修正した前年比+7.0%から+8.0%に上方修正しています。

当社では、米国をはじめ世界の景気は回復基調を維持し、インド経済も好調に推移すると考えています。

インフレへの懸念を強めているインド準備銀行は、これまでの金融政策の効果を見極めつつ、引き続き利上げの機会をうかがうものと考えています。

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。
 ■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第353号
 加入協会 (社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.20750%（但し、最低 2,625 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を当社との相対取引によりお買付けいただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会、社団法人 金融先物取引業協会